

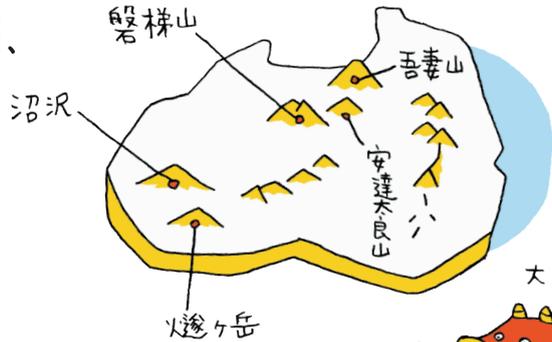


火山噴火

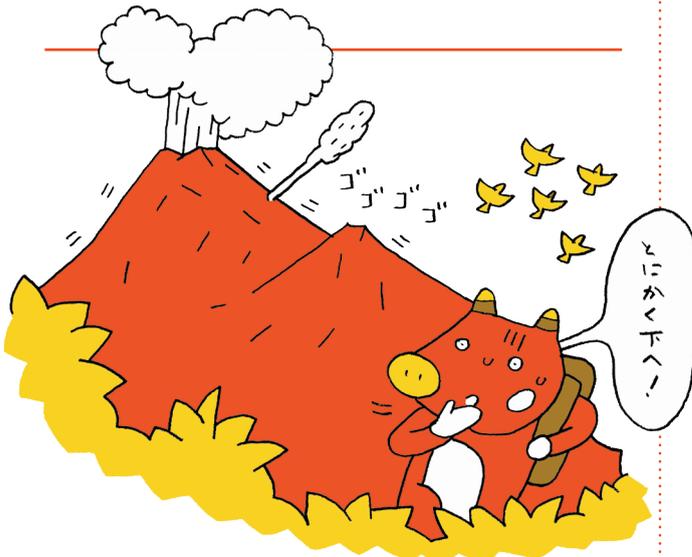
対策



けんない あづまやま あだたらやま ほんだいさん
 県内には、吾妻山、安達太良山、磐梯山、
 ひうちがたけ むまざわ かつかざん
 燧ヶ岳、沼沢の5つの活火山があり、
 なすだけ りんせつ かこ
 那須岳にも隣接しています。過去には
 かざんかつどう ひがい ほっせい
 火山活動により被害も発生しています。
 まん いち ぼあい そな
 万が一の場合に備え、
 ひ ごろから ころがま
 日ごろから心構えをしておきましょう。



噴火に遭遇したら



きけん かん じしゆひなん ひなん さい
 危険を感じたら自主避難しましょう。避難する際は、
 ぼうし あたま まも くち あ かこう
 帽子などで頭を守り、タオルを口に当て、火口から
 いそい はな
 急いで離れましょう。

火山灰に注意する



火山灰はただの灰ではありません。

かざんばい こきゅうこんなん め いた
 火山灰は、せきや呼吸困難、目のかゆみや痛み、
 じゅうけつ お つか
 充血を起こすので、マスクやメガネを使いましょう。
 どうろ かざんばい ふ つ くるま
 道路に火山灰が降り積もることもありますので、車
 うんてん など ちゅうい
 の運転などに注意しましょう。



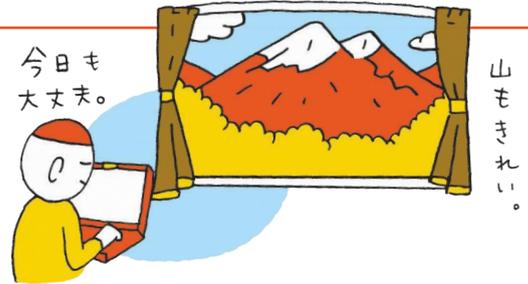
火山噴火から身を守るために

防災マップで危険区域と避難所を確認する



最寄りの自治体などで公開している防災マップで危険区域と指定避難所を事前に確認しましょう。

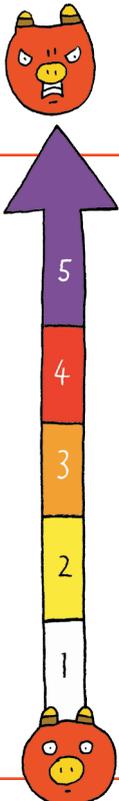
噴火警報を見逃さない



ふだんから火山の噴火警戒レベルに注意し、噴火で高齢者等避難や避難指示が出たら、市町村指定の避難所に速やかに避難しましょう。



噴火警戒レベルとは



噴火警報・予報の中で発表される噴火警戒レベルは、1から5まであります。各レベルに応じた行動をとりましょう。

レベル 5 危険な居住地域から **全員避難する**

レベル 4 危険な居住地域から **高齢者等は避難する**

レベル 3 居住地域近くの **危険地域の立入禁止**

レベル 2 **火口周辺の立入禁止**

レベル 1 特別な対応は必要ないが **注意が必要**